

橘ときわっ子

学校だより第16号
令和8年2月26日
武雄市立橘小学校
校長 坂井 文明



— やればできる みがけば光る 一歩でも前進 続けて 続けて —

学校教育目標 「生きる力を身に付け、学校・家庭・地域の思いを受け継ぐときわっ子の育成」

☆学力向上 ☆チーム担任制 ☆官民一体型学校づくりの推進 ☆ICT活用教育・学びのDX化の推進 ☆コミュニティ・スクールの導入促進

かっぱ隊お話し会

2月6日（金）の朝の時間に「かっぱ隊」による読み聞かせの最終回がありました。今年も全校児童のために、心温まる読み聞かせをしていただきました。心に響く脳に響く内容で、子ども達もほんわかとなり、心に栄養をいただき、脳も活性化したと思います。かっぱ隊の皆様には、一年間お世話になりました。ありがとうございました。



1・2年営農学級感謝の会

2月10日（火）に1・2年営農学級感謝の会がありました。JA及びJA女性部の皆様にご指導をいただきながら、2年生が夏野菜、1年生が冬野菜を育ててきました。営農学級の皆様には、事前の準備から肥料入れ、耕し、畝づくり、苗の準備等をしていただきました。苗植えやまびきでは、子ども達によりそって指導していただきました。お陰で、食べきれないほどのきれいで大きな野菜を育てることができ、給食にも利用させていただきました。ご指導ありがとうございました。



5年生田んぼの学校閉校式

2月13日（金）に5年生「田んぼの学校閉校式」がありました。「田植え」「田んぼや川の生き物調べ」「稲刈り」など、1年間「田んぼの学校」の活動でお世話になった地域の皆様をお招きしての閉校式でした。はじめに温かいお茶でお迎えしました。次に田んぼの生き物には良いものと悪いものがあることなどテーマを決めて取り組んだ学習についてタブレットや広用紙を活用し一人ずつ発表をしました。最後にお礼の言葉を言って、もち米や米粉をプレゼントして終わりました。「田んぼの学校」には、毎年地域の様々な団体が総がかりで関わってくださり、橘町の主な産業である農業を体験することで、郷土を愛する心を育むことができています。



3年生総合的な学習の時間「郷土学習」

3年生は、総合的な学習の時間の中で、「郷土学習」に取り組んでいます。これまでに、橘小学校の歴史について調べてきました。2月16日（月）には、潮見神社の毛利さんにゲストティーチャーとしてきていただき、潮見神社についてや河童伝説についてお話をいただきました。また、2月19日（木）には、歴史研究会の宮下さんにゲストティーチャーとしてきていただき、おつぼ山についてお話をいただきました。おつぼ山の名前の由来や大蛇退治の伝説について語っていただきました。



3年生みそづくり

2月25日（水）2校時になるせみそ様にご指導いただき、3年生「みそづくり」を行いました。大豆を丁寧につぶし、塩と麴を混ぜ合わせます。子どもたちは、みその感触を味わいながら、楽しくみそづくり体験ができました。